

水難事故に備えて！ 6年生でも着衣水泳を実施！！

同じく6年生も、14日(火)に水難事故防止の意識を高めるために、着衣水泳を行いました。子どもたちは、普段着ている長袖・長ズボンを身につけたままプールに入り、水の中での感覚を体験しました。5年生の時にも着衣水泳の経験があるので、感覚は覚えているはず。

「服が体に張りついて重い！」「全然思うように動けない！」

授業では無理に泳ごうとせず、「浮いて待つ」姿勢やペットボトルを抱えて浮力を得る方法を実践しました。先生方の寸劇も大好評。「子どもだけでは救助に行かない」「周囲の大人に助けを求める」「ペットボトルなど浮くことができるものを探す」などを確認することができました。

夏休みに入りましたが、全国の海や川で水難事故が相次いで発生しています。川遊び中の中高生が溺れたりするなど、悲しい事故が報告されています。水の事故に気をつけながら、安全で楽しい夏を過ごせるようにしてほしいと願っています。

この着衣水泳をもって、今季の水泳学習がすべて終了しました。6年生にとっては、小学校生活最後のプールとなりました。保護者の皆さまには、これまで子どもたちの健康管理や水泳用具の準備等にご支援ご協力を賜り、ありがとうございました。

